

【原著論文, 総説, 展望, 研究資料, 招待論文】

情報教育ジャーナル執筆の手引と作成例

— 書式とテンプレート —

Guidelines and Example for Journal of Informatics Education:

— Form and Template —

山田太郎^{†1}, 鈴木花子^{†2}
YAMADA Taro^{†1}, SUZUKI Hanako^{†2}

要旨: この手引と作成例では, 情報教育ジャーナルの書式とテンプレートが提供される. 著者は, 書式とテンプレートに従う必要があるが, 厳密に細部まで従う必要はない. 要旨は英文で 200 ワード以内でなければならない.

Abstract: This paper shows drafting points and an example for the Journal of Informatics Education. The authors are requested to follow them as much as possible, though variation of the details may not be strictly applied. The abstract should be written in no more than 200 words in English.

キーワード: 情報教育, 論文誌, 手引, 書式

Keywords: Informatics Education, Journal, Guideline, Format

1 はじめに

著者は, このテンプレートファイルを使用して原稿を作成する. この手引自体が原稿作成例となる.

原稿作成に使用するソフトウェアは Windows 版の Microsoft Word2010 以降を推奨する. Macintosh 版 Microsoft Word, 一太郎, KINGSOFT Office などを使用しても構わない.

この手引と作成例では, マージン, フォントの種類やサイズなどの書式が設定されている.

文章の区切りは, 全角の読点「,」と句点「.」を使用する. 括弧も全角文字とする. 本文中の文字の書式は明朝体を使用し, 章節項については, ゴシック体を使用する. 段落の冒頭は 1 字分あける.

原稿を投稿する前に, 個人情報への配慮がなされていることに注意すること. 特に, 人物が写っている写真が含まれている場合, 対象者の肖像権に配慮する. 対象者が複数の場合は, どの場面を原稿に使用するかを提示した上で, 著者はすべての対象者から許諾を得ること.

2 投稿資格

連名投稿の場合は, 共著者の全員が日本情報教育学会会員であること. ただし, 招待論文に関しては, 著者は日本情報教育学会会員である必要はない.

3 投稿原稿

3.1 テーマ

情報教育およびその関連分野の進歩普及に貢献するもの.

3.2 原稿種別

「原著論文」, 「総説」, 「展望」, 「研究資料」とする. 「原著論文」, 「総説」, 「展望」は査読有り. 「研究資料」, 「招待論文」は査読なし.

3.3 ページ数

注, 参考文献, 付録, 著者略歴をすべて含んで以下のページ数とする.

- (1) 「原著論文」は 6 ページ以上 8 ページ以内
- (2) 「総説」, 「展望」は 2 ページ以上 24 ページ以内
- (3) 「研究資料」は 40 ページ以内

^{†1} 日本情報教育大学 Japan University of Informatics Education

^{†2} 株式会社情報教育研究所 Research Institute of Informatics Education, Inc.

3.4 構成

原稿の標準的な構成を以下に示す。

- (1) 緒言(研究の背景・目的, 文献調査による原稿の位置付け, 内容の概略説明など)
- (2) 主部(理論, 実践およびその結果, 結果の解釈および考察など)
- (3) 結言(得られた結論など)
- (4) 参考文献, 著者略歴など

3.5 形式

3.5.1 書式

原稿はこのテンプレートの書式に従って作成する。

3.5.2 要旨

氏名の下に, 和文と欧文の要旨を記載する。欧文要旨は 200 ワード以内とする。欧文要旨には改行を入れない。また, なるべくネイティブチェックを受ける。

3.5.3 キーワード

欧文要旨の下に, 2 つ以上 5 つ以内のキーワードを和文, 欧文両方で記載する。

3.5.4 表, 図, グラフ, 写真

表, 図, グラフ, 写真は本文中にキャプションを付けて埋め込む。グラフと写真は, 図として扱う。

図のキャプションは Fig.1 のように, 図の下に中央揃えで配置する。

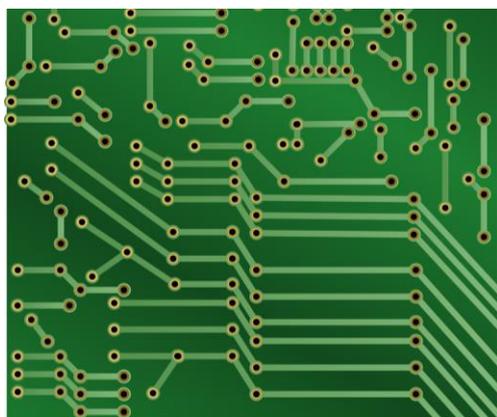


図 1 本文中に挿入した図

Fig.1 Figure inserted in the text

図の場合とは異なり, 表のキャプションは, Table 1 のように, 表の上に中央揃えで配置する。

表 1 本文中に挿入した表

Table 1 Table inserted in the text		
	日本	世界
情報	314	1,592
教育	6,535	8,979
学会	3,238	4,626

3.5.5 注と参考文献

注は脚注とする。ただし, 最小限に留める¹⁾。

参考文献は本文の末尾に, このテンプレートの書式に従って記載する¹⁾。同一センテンスに参考文献が複数あるときは, 次のように参照する²⁾・³⁾・⁴⁾・⁵⁾。

記載する参考文献は文中で引用するもののみとし, 本文の末尾に番号順にまとめる。

巻・号がある場合は略記する。雑誌名の各単語の最初の文字は大文字にする。欧文の雑誌名や書籍名はイタリックにする。

著者が 4 名以上の場合, 4 人目以降を, 和文の場合は「ほか」, 英文の場合は「et al.」と略記することもできる。

3.6 その他

3.6.1 二重投稿

公開済みまたは投稿中の原稿と同一内容, または極めて類似した内容を投稿した場合, 二重投稿と見なす。投稿中とは, 投稿日から採録・不採録通知日までの期間を指す。

例外的に以下のいずれかに該当するものを加筆・修正したものは, 二重投稿にはならない。ただし, 元になったものと投稿原稿との関係を明らかにする必要がある。

- (1) 特許公開や公告公報など
- (2) 大学の学士論文・修士論文・博士論文・テクニカルレポートなど
- (3) 本学会や他学会の大会・研究会・国際会議の予稿集・プロシーディングなど
- (4) 書籍, 企業の技報など
- (5) 新聞記事, プレプリントサーバ, 著者個人のホームページなど

3.6.2 著作権

原稿の著作権は著者に帰属する。

¹⁾脚注が長くなる場合には付録として記載。

3. 6. 3 論文賞

優秀な論文は、編集委員会から日本教育情報学会論文賞に推薦される。

4 投稿原稿の受付

4. 1 投稿の申込

投稿の申込は随時受け付ける。投稿予定の責任著者は、以下の項目を電子メール本文に記し、原稿投稿用メールアドレス宛に連絡する。メールの件名は「投稿申込」とする。なお、同一号の複数の論文に第1著者として投稿することはできない。ただし、第2著者以下であればいくつ投稿しても構わない。

- (1) 原稿種別(「原著論文」,「総説」,「展望」,「研究資料」,「招待論文」)
- (2) 原稿タイトル
- (3) 氏名
- (4) 所属
- (5) メールアドレス
- (6) (「原著論文」,「総説」,「展望」としての投稿のみ)査読の結果「研究資料」として掲載可となった場合に、掲載を希望するか。

4. 2 原稿の投稿

投稿申込後 30 日以内に、責任著者は、この手引と作成例に従って作成した原稿の電子ファイルをメールに添付して、原稿投稿用メールアドレス宛に送信する。著者は原稿受付の確認メールを必ず確認すること。

4. 3 原稿投稿用メールアドレス

iesj@pbd.kj.yamagata-u.ac.jp

5. 投稿原稿の採録

5. 1 採録の決定

投稿原稿の採録の可否や修正の有無については、査読委員による査読結果に基づいて、編集委員会が決定する。編集委員会は、決定内容を、責任著者に電子メールで連絡する。ただし、採録論文数が 10 を超える場合は、掲載が次号になることがある。

謝辞

謝辞があれば、ここに記載する。

【参考文献】

- 1) KANOHI Hiroko (2013), Development of MMRS (Mind Map and Relief System), an Information Sharing System for Children's

Safety, *Procedia Computer Science*, Vol. 22, 762-771.

- 2) 加納 寛子 (2008), 子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムの開発 - MMRS (Mind Map and Relief System) の開発とその使用感について -, 日本教育情報学会誌 教育情報研究, 23 巻, 4 号, 3-16.
- 3) 加納 寛子, 加藤 良平 (2008), ケータイ不安-子どもをリスクから守る 15 の知恵, NHK 出版, (東京).
- 4) 加納 寛子 (2013), ネットいじめの現在, 現代思想, 40 巻, 16 号, 青土社, 229-239.

付録

付録があれば、ここに記載する。

受付: 20xx 年 xx 月 xx 日

採録: 20xx 年 xx 月 xx 日

—— 著者略歴 ——

山田 太郎 日本情報教育大学大学院教育学研究科准教授。2000 年 日本情報教育大学教育学部卒, 2005 年 日本情報教育大学大学院教育学研究科博士後期課程修了, 博士(教育学), 2005 年 学術振興会特別研究員, 2007 年から現職。研究内容: プログラミング教育, 特にロボットを用いた小学生を対象としたプログラミング教育。本研究では, プログラミング教育の実践・原稿執筆・編集委員会との対応を担当。

E-mail: yamadataro@jaie.ac.jp

鈴木 花子 株式会社情報教育研究所主任研究員。2002 年 日本情報教育大学教育学部卒, 2006 年 日本情報教育大学大学院教育学研究科博士後期課程修了, 博士(教育学), 2006 年 学術振興会特別研究員, 2008 年から現職。研究内容: 情報モラル教育。本研究では, アンケート調査の実施・アンケート調査の結果の分析を担当。

E-mail: suzukihanako@jaie.co.jp

(改定日 2021 年 3 月 22 日)